

【単位互換事業】大学連携型 PBL 科目「おうみ学生未来塾（湖東）」を実施しました

8月17～19日の3日間、集中講座日程により大学連携型 PBL 科目「おうみ学生未来塾（湖東）」（「地域デザイン A/地域再生システム論・特論」）を行いました。

受講生は、地域でのフィールドワークを通して対象地域の課題を把握し、ワークショップでそれを解決するための事業提案を作り上げます。本年度は、長浜市鍛冶屋、彦根市荒神山、東近江市八日市中心市街地、竜王町鶉川の4地区に協力を得て、各地域でまちづくりに携わる方に現地サポートを依頼しました。

○開催概要

日時:2018年8月17日(金)、18日(土)、19日(日)各9:00-18:00

場所:滋賀県立大学 A4 棟教室他

講師:滋賀県立大学地域共生センター准教授 鶴飼修、助教 上田洋平、特任職員 谷口嘉之
ゲスト講師 吉井隆、田中光一

受講生:22名(近江環人地域再生学座生:6名、本学学生:9名、立命館大学学生7名)

8月17日(金)

- ・担当教員より本授業の進め方とねらいについて説明。
- ・訪問地の決定。4つのチームに学生を分ける。
- ・地域づくりのドキュメンタリー映像を視聴。
- ・フィールドワークの前に地域課題の絞り込みと解決に向けた掘り下げを行うため、「マンダラート手法」を用いたワークを実施。

8月18日(土)

グループごとに以下の4つの地域でフィールドワークを実施。

1. 長浜市鍛冶屋
2. 彦根市荒神山
3. 東近江市八日市中心市街地
4. 竜王町鶉川

フィールドワークの内容(例)

「地域課題の概要」について地域の方と共有。地域の特性を知るためのまちあるき、地元の方へのヒアリング、提案に向けた議論等。



8月19日(日)

- ・チームごとに2日目のフィールドワークの様子や得られた成果を発表。
- ・特別ゲスト UDS 株式会社 代表取締役社長 中川敬文氏のレクチャー「10年後の楽しいをつくる地域デザイン」を聴講。
- ・UDS 株式会社中川社長にもコメンテーターとして加わってもらい、提案の発表会を実施。



どのチームも地域でのフィールドワークから感じ取った情報を元に、若い学生ならではの視点を活かした提案が発表された。地域の方も自分たちでは考えつかなかったアイデアだと好感触の様子であった。

以上